

平和とよりよき生活のために

広島

の
せいきょう

第38号 2012年10月20日
広島県生活協同組合連合会発行

〒730-0802

広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル

TEL 082-532-1300

FAX 082-232-8100

E-mail:kenren.h@proof.ocn.ne.jp

URL:http://hiroshima.kenren-coop.jp

戦争も核兵器もない平和な世界の実現に向けて 〈生協 夏の平和の取り組み〉



広島県生協連・会員生協では、平和こそが豊かなくらしと生協運動の発展の基と確信し、「平和とよりよき生活のために」を理念に、取り組みを続けています。

平和市長会議(155カ国・地域5,418都市が加盟、2012年10月1日現在、会長は広島市長)は、2020年までの核兵器廃絶をめざす「2020ビジョン」を提唱し、2015年の核兵器禁止条約締結を目指しています。世界的に核テロなどの緊張が高まる中、2015年のNPT(核不拡散条約)再検討会議の成功の可否が、核の廃絶か拡散かの大きな鍵を握ると言われています。この会議の準備委員会は、既に2012年から開催されており、今から市民の関心を高め世論を醸成することが重要です。一方、被爆者の平均年齢は78歳を超えており、被爆の証言を直に聞ける機会は減ってきています。

こうした情勢の中、広島県生協連は被爆地ヒロシマの生協として、2020ビジョンに賛同し被爆の実相を学ぶこと、次世代へ「継承」し人々へ「警鐘」することを強く意識して、平和活動に取り組んでいます。

今夏も各会員生協の取り組みに加えて、2つの大きな取り組みを行いました。

1 ピースアクションinヒロシマ 〈主催/日本生協連・広島県生協連〉 「継承と創造 ～ヒロシマから平和な未来を築こう!～」

- (1)虹のひろば(8/5)
- (2)分科会(8/4～8/6)

2 2012市民平和行進 〈主催/2012市民平和行進広島県連絡会(3頁をご参照ください)〉

- (1)地域の行進(7/21～30)
- (2)広島市内の行進(東・西 2コース)と集結式(8/4)



ピースアクション in ヒロシマ 開催



「核兵器も戦争もない平和な世界」を求めるヒロシマの願いを共有し、全国に広げる「ピースアクションinヒロシマ」。「継承と創造～ヒロシマから平和な未来を築こう!～」をテーマに、8月4～6日までの3日間で、のべ約2,000人が参加しました。

ヒロシマ 虹のひろば 8月5日 広島県立総合体育館 グリーンアリーナ

～通算34回目の虹のひろばに 65生協・1,100人が参加～

前半の式典「虹のステージ」では、主催者挨拶に続き、松井一貫広島市長にご挨拶いただきました。今年の被爆証言は、広島県原爆被害者団体協議会理事長坪井直さんに、ご自身の原爆被災体験と平和への思いをお話いただきました。

後半「みんなのひろば」は、全国と地元の生協や平和関連団体など26団体が出展。それぞれが創意工夫を凝らした活動を紹介しました。主催者企画としては、日本被団協が作成した「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」パネル展、「震災復興について考えるコーナー」、組合員から集めた素材で平和をアート表現した「つながろう」プロジェクトコーナー(生協ひろしま、広島市立大学芸術学部 共同)なども設けました。特に今年は「平和市長会議」の取り組みや、核兵器を取り巻く状況について展示した2020ビジョンコーナーを充実。平和市長会議事務局(広島平和文化センター職員)と共に国内外加盟都市を増やす取り組みや署名を呼びかけました。「市民の力が世界を動かす原動力となり得る」というメッセージは草の根の活動をする参加者を元気づけました。

「みんなのひろば」は、それぞれの取り組みを持ち寄り情報交換することで、活動の輪をさらに大きく広げていくことを目的としています。参加者はそれぞれ興味のあるコーナーで参加・体験し、交流を深めました。

フィナーレは合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」。下は2歳から上は80歳台まで幅広い年齢層の合唱団(150人)が7曲を披露し、「虹のひろば」をにぎやかに締めくくりました。

なお、この様子は動画配信サイト「Ustream(ユーストリーム)」を通じてライブ配信しました。次のURLより、見るができます。 <http://jccu.coop/topics/ustream/>

プログラム

- ◆虹のステージ
 - ・オープニング (山陽太鼓“弾” 広島山陽高校和太鼓部)
 - ・主催者挨拶 (芳賀唯史 日本生協連専務理事)
 - ・来賓ご挨拶(松井一貫 広島市長)
 - ・被爆の証言(坪井 直さん)
- ◆みんなのひろば
- ◆フィナーレ 合唱

分科会 8月4・5・6日



川から見る被爆の実相(新企画)
遊覧船に乗って原爆ドーム横・本川をまわりながら証言を聞き、被爆時に想いをはせました。



碑めぐり(全9コース)
生協ひろしま碑めぐりガイドの解説で平和公園周辺の慰霊碑や被爆遺構をめぐるりました。



被爆の証言(5証言)
被爆者から直接体験を聞くことで被爆の実相を学び、多くの人たちに知らせていききっかけづくりをしました。

2012 市民平和行進

2012年から2013年が核兵器の早期廃絶に向けて重要な年と位置付けて様々な取り組みを実施しました。平和行進は沿道の人々にアピールする方法の1つです。社会的な話題になるよう、より多くの参加による行進をめざしました。

参加者を増やすためには、被爆者の思いを感じて、それを周囲に伝えていこうと、被爆体験を聴く会などを積極的に開催しました。このことが、周囲の職員や組合員への声掛けの大きな力になり、8月4日は昨年の3.5倍・700名という大きな参加者で集結を迎えることができました。

また、地域実行委員会を中心に県内5カ所でも行進が実施されました。(7/21～30)

- 【主催】**
2012市民平和行進 広島県連絡会
- 広島県原爆被害者団体協議会
 - 広島県原爆被害者団体協議会
 - 広島県地域女性団体連絡協議会
 - 広島県青年連合会
 - 広島YMCA
 - 広島県生活協同組合連合会

ご挨拶(代読含む)

自治体	お名前
福山市	羽田 皓市長
呉市	小村和年市長
三次市	増田和俊市長
尾道市因島総合支所	東風光高支所長
廿日市市	眞野勝弘市長
西区	向井政博西区長
広島市	松井一貫市長

前半・式典「虹のステージ」

オープニング・和太鼓 **松井一貫広島市長ご挨拶** **被爆の証言・坪井 直さん**

山陽太鼓“弾”(広島山陽高校和太鼓部)による躍動感あふれる勇壮な太鼓で幕が開きました。

「被爆の実相を伝えることが年々難しくなるが、地道な活動を続けなければならない」と松井広島市長。

被爆体験を通して戦争の愚かさや核兵器廃絶を力強く語っていただきました。

フィナーレ・合唱

戦後、唯一象が生き残った東山動物園へ、子どもたちのため特別仕立ての列車が走りました。この実話を基に作られた合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」。命をいづくしむ心と平和のメッセージを、150人が元気いっぱい届けました。

後半・フリー参加「みんなのひろば」

パネル展 **つながろうプロジェクト** **2020ビジョン・コーナー** **平和Bigカルタ**

「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」パネル展。日本被団協が、戦争や原爆を知らない世代の人にとってもらうために作成。多くの参加者が見入っていました。

着なくなった思い出のTシャツを集め(約400枚)、生地を帯状に切って紡いだアート作品。人と人とのつながりを表現(広島市立大学芸術学部、生協ひろしま共同)。

平和市長会議の取り組みや核兵器を取り巻く状況について、クイズや紙芝居、パズルを使って学んだあと、署名コーナーへ。

普段とは勝手の違う大きなカルタ。楽しみながら学べる企画となりました。

7/21 福山(120人) 7/30 因島(69人) 7/28 三次(104人) 7/28 呉(115人) 7/30 廿日市(94人)

8/4 広島市内(700人)

▼青い空は青いままで子どもたちに伝えたい…

▶東コース(稲荷橋を出発)と西コース(福生協病院前を出発)の行進団が平和公園で合流し、集結式を行いました。

▶商店街では笑顔でアピール

▶子どものメッセージ

▲子どもたちも元気に歩きました

人類の生存を脅かす核兵器は いりません!
子どもたちに平和な未来を残すため、核兵器の廃絶を訴えます

会員生協の平和の取り組み



日立造船因島生協



▲7/29市民平和行進

天候にも恵まれ69名の行進団が元気に沿道のみなさんにアピールしました。(写真は出発前の様子)



▲7/29平和の集い ミニコンサート(アンダーグラウンド・XX・バンド)、ヒロシマの証言(DVD)上映、ヒロシマ・ナガサキポスター展示、平和の絵、川柳審査など企画は盛りだくさん!

広島大学生協



▲平和に関する情報が書かれた折り紙を配布し、読んでから折ってもらう「折り鶴企画」に組織部の学生が取り組みました(3,785羽)。8月6日、広島市の平和記念公園内に献呈。平和について考えるきっかけづくりとなりました。

広島中央保健生協



▲8/6朝の集い

福島生協病院前緑地帯で開催。慰霊碑に献花、原爆投下時刻の8時15分に黙とうをささげました。



▲8/6平和学習会 生協けんこうプラザで講演「核害の街に生きる」(講師 郡山医療生協 宮田育治 専務理事 写真)と、「東日本大震災支援報告」を行いました。

生協ひろしま



▲8/5ピースナイター2012 プロ野球公式戦を通じて平和をアピールしました。5回裏終了時に登場した子どもたちのパフォーマンスに合わせて、ピースナイター新聞を掲げ観客席は緑一色に。原爆ドームと同じ25メートルの高さに赤色のピースラインをつくりました。

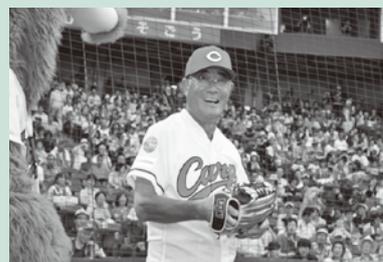
広島医療生協



▲7/28平和まつり 平和活動を地域や職場・園にどう広げていくかについて考えました。共立ひよこ保育園からは平和の心を育む「いいとこ見つけ」の報告がありました。



▲8/6絵碑前集會 今年はNHKの取材もあり、全国・世界に大きくアピールできました。福島から避難されてきた方の訴えや2年目職員の被爆体験の聞き取り報告(訴え)は170名の心に深く刻まれました。



▲始球式には元プロ野球選手で、被爆者でもある張本勲さん(広島市出身)が登場しました。